

## (書 の 部)

## 講 評

昨年より出品点数は若干減少しましたが、力の入った作品が多く、知事賞・市長賞等選出には、甲乙つけがたく難航しました。

知事賞の作品は、書き馴れた迷わない筆致で迫力のある書きぶりです。  
市長賞の作品は、字幅を大きく大胆に動かし、白を生かした作品です。  
高校生の作品も数点入賞し、力をつけてきております。

次回に向け、誤字や虚画・実面のまぎらわしい箇所注意、確認をし、バラエティ豊かな変化のある作品を期待します。

No	題 名	氏 名	住 所
1	(知事賞) 藍川詩	高橋 巨佐子	東陽
2	(市長賞) 李白詩	柳本 塘薊	下三栖

## (教委賞)

3	自作「満月の夜に」	大谷 和風	南新万
4	あまつ風	檜山 史歩	白浜町
5	迎吟友賦呈	中田 光葉	秋津町
6	耿漳詩	山口 瑤流	神子浜二丁目
7	小陰自題	山田 芽以	片町

## (奨励賞)

8	藍川老師詩	青木 成蹊	南新町
9	徳富蘆花の詩	今木 羽純	神島高校
10	なげけとて	大西 雅子	芳養松原一丁目
11	高橋藍川詩	木村 春花	上富田町
12	朔太郎の詩	小山 萌舟	白浜町
13	貫之のうた	杉浦 隆	白浜町
14	崇明學宮天心水面軒	高橋 清川	東陽
15	高橋藍川詩	田中 芳香	明洋二丁目
16	方孝標詩	辻村 多佳子	湊
17	孫逖詩	中内 謙也	田辺高校
18	薄田泣菫の詩	西出 淑子	たきない町
19	高橋藍川詩	野村 雅真	新庄町
20	臨 傳山	火縄 明俐	南部高校
21	臨 孫秋生造像記	村田 遥香	南部高校
22	高橋藍川詩	森 香蘭	下屋敷町

23	唐詩	青木 三結奈	神島高校
24	王維詩	赤坂 ひかり	みなべ町
25	懷風藻	石神 楽扇	下屋敷町
26	王維詩	岩橋 佳諒	神島高校
27	唐詩	牛込 耕波	兵庫県
28	臨 松風閣詩卷	小倉 愛菜	南部高校
29	土井晩翠の詩	上浦 馨衣	目良
30	弓場和彦の歌二首	国本 多寿枝	白浜町
31	唐詩	窪田 光流	田辺工業
32	唐詩	後藤 桜扇	東山二丁目
33	梅天雑詠	塩見 蒼龍	あけぼの
34	高橋藍川詩	高田 翠月	上富田町
35	臨 九成宮醴泉銘	瀧田 恭大	南部高校
36	土屋文明の歌	瀧畑 光良	下屋敷町
37	稲すゞめ	田上 貴子	上富田町
38	ななくさ	玉置 可怜	南紀高校
39	李白之詩	那須 透水	芳養町
40	唐詩	成田 葉扇	末広町
41	臨 蜀素帖	花本 緑里	南部高校
42	臨 風信帖	福本 美結季	南部高校
43	大隈重信の語	前田 尚巳	白浜町
44	七言絶句二首(自作)	舛岡 松風	磯間
45	王維詩	松本 清恵	みなべ町
46	唐詩	南 杏奈	田辺高校
47	窪田空穂の歌	宮本 浩子	あけぼの
48	御選金詩	森本 紅媛	上屋敷三丁目
49	懷風藻	森本 翔	稲成町
50	詩経	安田 珠唯	神島高校
51	土屋文明の歌	山岡 龍史	白浜町
52	喬辰詩	和田 玖泉	上富田町
53	土屋文明の歌	渡辺 龍二	白浜町

## (彫 塑 の 部)

## 講 評

今年の出展数は高校生の作品1点と寂しいかぎりであったが、質が高く、例年に比べても、知事賞にふさわしい作品であった。

県内の市町村の展覧会で「彫塑の部」があるのは和歌山市展と田辺市展だけである。

50年以上続いてきたこの地域での「彫塑・彫刻」の灯が消えてしまわないことを願うばかりである。

知事賞の「遺響(いきょう)」は、微かに生命感を漂わせる滑らかな直方体の形を、時間とともにそれを風化し、侵蝕されたマイナスの形との対比が斬新で、生命の余韻や響きを感じさせる秀作である。

No	題 名	氏 名	住 所
1	(知事賞) 遺響	稲藪 梨緒奈	熊野高校
2	(市長賞)		

## ( 教 委 賞 )

3			
---	--	--	--

## ( 奨 励 賞 )

4			
---	--	--	--

## ( 入 選 )

5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			

